

1 学年 グローバル・スタディ (GS) 科 学習案内

◎ 中学校のグローバル・スタディ科では…

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通じて、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目標としています。

◎ そして中学校の外国語 (英語) では…

- (1) 聞くこと：はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
- (2) 読むこと：日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。
- (3) 話すこと (やり取り)：関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
- (4) 話すこと (発表)：関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
- (5) 書くこと：関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

ことを目標としています。

● 1 学期 (英語学習の習慣作り)

- ・学習態度、学習方法を身につける。(授業のマナー、ルール、持ち物の準備など)
- ・アルファベットの読み書き、あいさつ、身近な単語、数字などの言い方、音声に慣れ親しむ。
- ・be 動詞、一般動詞の現在形を理解し、表現できるようにする。
- ・複数形を理解し、会話表現として使えるようにする。
- ・疑問詞を使った疑問文を理解し、尋ねたり答えたりできるようにする。

● 2 学期・3 学期 (英語の文法を理解し、それらを使い、様々な場面で適切に表現できるように)

- ・助動詞を用いた文を理解し、表現できるようにする。
- ・3 人称単数現在形の文を理解し、表現できるようにする。
- ・現在進行形・過去形・過去進行形を理解し、尋ねたり答えたりできるようにする。
- ・修得した英文を用いて自分のことが表現できるようにする。



評価の観点

グローバル・スタディ科では次の3つの観点を評価していきます。

①知識・技能

言語材料と言語活動を効果的に関連付け実際のコミュニケーション活動において活用できる技能を身につけているか。

②思考力・判断力・表現力

日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合っているか。

③主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。

★評価の方法

- 授業準備 → すべての基本は授業です！授業への準備 (心構え) が大切です。
持ち物の準備、チャイム着席、家庭学習 (予習・復習) ができているか。
- 授業態度 → 英語は言語です。間違いを恐れず、積極的に挙手して発表したり、はっきりした声で質問したり答えたりしましょう。また、先生の説明や英文を聞くときは集中しましょう。
- 表現 → 習った英語を使って、自分の考えを表現しましょう。(話す、書く)
- 提出物 → ワークシート、ノート、ファイル、ワークなどを提出します。
自分の力になる取り組みをしましょう。提出期限を守りましょう。
- テスト → 定期テストやパフォーマンステスト等で知識・技能・思考力・判断力・表現力の程度を調べます。